

Progress



枚方市立
招提北中学校
進路通信
第12号
2022.02.09

今までの努力を無駄にしない！

いよいよ私立高校の入試です。今まで準備してきた成果をしっかりと発揮してきましょう。当日焦らないようにしっかり準備をして臨みましょう。

受験前日について

①早く寝て、ベストコンディションで臨もう

試験当日をベストコンディションで迎えるためには、それ相当の準備が必要です。入試は朝から試験が始まります。この時間帯に頭が働くように合わせるためには、いつもより早めに起きなければなりません。前日は受験の準備を終えたら早めに寝るようにしましょう。

②「受験の注意」を確認しよう

高校から配布されているプリント等をよく読んで、「集合時間・場所」「試験科目・時間割」「持ち物」等を点検しておきましょう。HP等に、受験する校舎や教室が受験番号ごとに発表されている学校もあります。必ず最新情報を確認するようにしましょう。

③試験会場までの道順・交通機関・時間をイメージしておこう

※公共の交通機関は、11日は休日ダイヤですので注意が必要です。

④持ち物の準備をしておこう

当日の朝にあれがないこれがないと焦らないように前日に準備を済ませておきましょう。学校によって持ち物が違う場合がありますので、配布されたプリントをしっかりと確認しましょう。

・受験票 ・筆記用具 ・定規、コンパス [学校によるので要確認]

・スリッパ (今日持ち帰るのを忘れない)

・ハンカチ、ティッシュ ・往復の交通費、緊急連絡用のお金(小銭等)

(・時計 ※使用できるかは高校の指示に従うこと) その他必ず自分で確認すること！

※携帯電話の持ち込みは禁止されています。不要物は持っていないこと!!

⑤服装の点検をしておこう(面接がある人は要確認)

・制服のほつれやボタン、ズボンやスカートの丈

試験当日について

①試験会場には早め（３０分前）に到着しておこう

当日は公共の交通手段を使って会場まで行きましょう。また、余裕を持った行動が取れるように会場には３０分前には到着しておくべきです。友達と一緒に行く場合は、集合時間・場所をしっかりと打ち合わせしておき、

万が一待ち合わせ時刻になっても友達が来ない場合は先に行きましょう。

②高校についたら自分の試験会場（教室）・トイレの場所を確認しておこう

③休み時間は次の試験のことに集中しよう

前の教科の答え合わせをして良いことは何也没有什么。くよくよ考えてしまうことにつながりますので、次の教科のことだけを考えましょう。

④試験会場で体調が悪くなった場合は試験会場の先生に申し出ましょう

家や高校に向かう最中に体調が悪くなった場合は中学校に連絡して下さい。中学校から高校に連絡します。

※何事も困ったことがあったら、試験会場の先生の指示に従い、行動しましょう。

勝手に判断して行動しない!!

入試は必ず公共の交通機関を利用していくようにしましょう。保護者の方に車で送ってもらい、渋滞で遅刻しても高校には認められません。

電車を利用して行き、電車が何らかの理由で大幅に遅れた場合は駅員が「遅延証明書」を発行してくれます。配っているかわからない場合は駅員に尋ねてください。

体調不良で受験できない場合は**必ず中学校に**連絡して下さい！

（当日は７時から３年生の先生が中学校に来ています）

枚方市立招提北中学校 050-7102-9265

私立高校の合格発表について

合格発表には、「自宅に郵送される」「ＨＰで発表」などがあります。各自、要項を確認しておいてください。決められた日時に登校したり手続きしたりしないと合格が取り消されることもありますので、十分に注意してください。自分のことは自分の責任で行ってください。合否が分かり次第、必ず担任の先生に報告してください。

- ・合格の場合、なるべく早く担任の先生に直接伝えてください。
- ・不合格の場合、月曜日の朝に担任の先生に必ず連絡してください。

※1.5次を受ける場合は、保護者の方に振込等動いていただく必要があります。

答案作成のアドバイス

- ①はじめに受験番号・名前を書こう。

試験が終わってから、「受験番号と名前を書いたかな？」と不安になるもの。一度気になると次の科目に影響も出かねません。答案用紙をもらって「始め」の合図が出たら、まず、受験番号と名前を記入しよう。

- ②文字は丁寧に、楷書ではっきり書こう。鉛筆は濃いもの（HB、Bなど）を使用する。

- ③時間配分をよく考え、できる問題からやろう。

できる問題をやり残さないことが重要。すべてのページに目を通したあと、得意な問題からやろう。また、すぐにできる問題（例：漢字の書き取り/英単語のアクセントの問題など）を先にやっておくと、時間切れになっても安心。また、自分が難しい問題は、他の受験生も難しいものです。他校の受験生は本当に賢そうに見えますが、気にせず、自分ができるところに集中しましょう。

- ④問題の指示を正確につかもう。

必要以外のことは書かない。余分なことを書くと減点対象となることがあります。

- ⑤長文問題は、問いを先に読もう。

国語や英語の長文問題、社会の資料から考える問題などは問いを先に読んでおこう。何を問われているかを理解してから、長文や資料を読んだ方が、効率的に答案作成ができます。

- ⑥ケアレスミスに注意しよう。

記号で答える問題を語句で答えて、全問×になっているのをよく見かけます。どのように解答すべきかをしっかり読もう。字が曖昧で×になることも多いです。例えば、カタカナのアとイは、曖昧に書くとどちらとも読めます。そんな時「疑わしきは×」になります。分かっているのに×になるという失敗をなくすために、時間ギリギリまでミスがないか、見直しましょう。

- ⑦服装・姿勢をきちんとしましょう。

試験監督は、受験生の普段の生活を見抜くプロです。何気ない細かい仕草から、受験生の普段の様子をチェックしています。

- ⑧不正行為、まぎらわしい行為は一切しないようにしましょう。

直接注意されなくても番号を控えられるので、よそ見、筆記用具のやりとり、ポケットや机の中の手さぐりなどは絶対にしないようにしましょう。早く終わっても、落書きをしたり、寝たりせず、見直しをしっかりとしましょう。試験が終わったら、寄り道をしないで帰宅しましょう。

※翌日に面接がある場合は、集合時刻に遅れないように余裕をもって受験校へ行きましょう。